

第4章 地区別構想

この章では、地区の特色や地区住民の声を十分に反映させ、より地区に密接したまちづくりを具体的に考えていくものです。地区レベルの構想を地元に着目した市民の日常生活を通じた観点より定めていく「地区のまちづくりの方針」を定めるものです。

- 4-1 中央地区まちづくり構想
- 4-2 東部地区まちづくり構想
- 4-3 南部地区まちづくり構想
- 4-4 北部地区まちづくり構想
- 4-5 川間地区まちづくり構想
- 4-6 福田地区まちづくり構想
- 4-7 関宿北部地区まちづくり構想
- 4-8 関宿中部地区まちづくり構想
- 4-9 関宿南部地区まちづくり構想

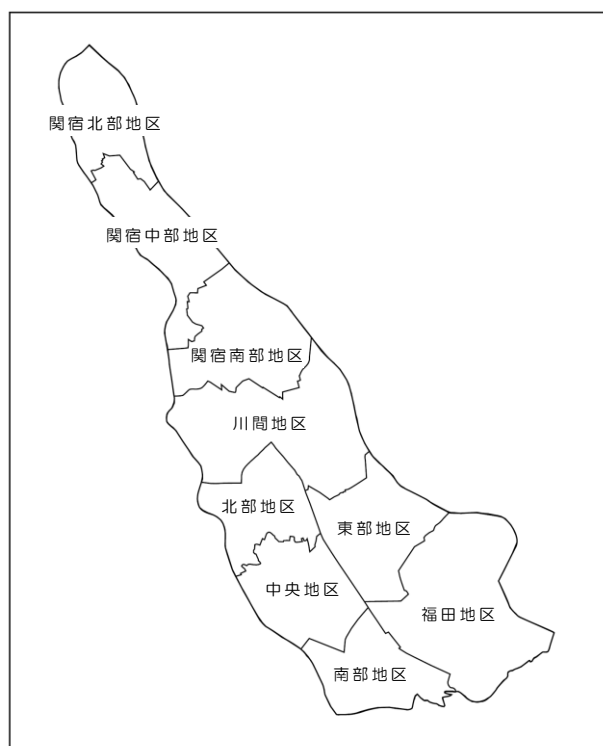
第4章 地区別構想

地区別構想の考え方

都市計画マスタープランは、市の建設に関する基本構想である「野田市総合計画」と千葉県が定める広域的なまちづくりの計画である「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即して定めるものです。したがって、地区別構想は、「野田市総合計画」や「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」における市全体の都市構造や土地利用を基に、地区ごとの現況や課題を踏まえて、各地区の特性に応じたあるべき将来像や市民に身近な視点からのまちづくりの方針などを示すものとなります。

地区区分の考え方

地区区分に当たっては、中学校区などの生活圏や歴史的なつながり、市民参加における地区としての一体性やまとまりを考慮した上で、市民にとって身近で分かりやすいものとする必要があります。そこで、幹線道路や鉄道線路などの分断要素や土地利用状況、生活面でのつながりなどを考慮した上で、市域を9地区に区分します。



4-1

中央地区まちづくり構想

1) 地区の現況

中央地区は、野田市の行政、文化、産業などの中心地として発展してきた地区であり、市役所、櫛のホールなどの公共施設が立地し、東武野田線の野田市駅、愛宕駅、清水公園駅の3駅が設置されています。また、市の伝統的な産業である醤油醸造業を中心とした工業地が地区の中心部に形成されています。

地区の北側には、良好な自然環境やスポーツ・レクリエーション施設を有する野田市総合公園が位置し、東側に中央の杜、西側には江戸川が流れるなど、水やみどりに囲まれているとともに、市街地内においては、国の登録文化財でもある興風会館や野田市市民会館、国の指定名勝である高梨氏庭園など歴史的資源が点在しています。

主要な道路としては、南北軸を走る主要地方道結城野田線、外郭環状道路となる都市計画道路山崎吉春線、東西軸を走る主要地方道つくば野田線、越谷野田線、野田牛久線が挙げられます。



■野田市駅



■工事が進む愛宕駅周辺

2) 地区の課題

中央地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 地区中心部における回遊性の確保や既存商店街の充実、商業業務機能の集積、周辺の道路整備による中心市街地の活性化
- 中心市街地の核となる野田市駅、愛宕駅周辺の整備充実
- 野田橋周辺や野田市駅、愛宕駅周辺の交通渋滞解消による地区内交通の円滑化
- 野田市総合公園を始めとする地区内のレクリエーション資源及びその周辺における緑地空間などの保全・活用
- 地区内に点在する歴史文化資源の保全と、それらの活用による市の玄関口としてふさわしい景観の形成

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、中央地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

～野田の伝統産業・歴史・文化を発信する、
にぎわいと活力に満ちたまち～

4) まちづくりの基本目標

中央地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

- ① 野田市駅・愛宕駅周辺等に都市機能を集積し、魅力と活力に満ちた拠点づくりを目指します
- ② 中心市街地を核とした、誰もが快適に暮らせるコンパクトな市街地の形成を目指します
- ③ 野田市の伝統産業や、貴重な歴史的・文化的資源とふれあえるまちづくりを目指します

5) まちづくりの方針

中央地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 野田市駅周辺は、東武野田線連続立体交差事業と一体となった駅前広場や駅前線等の市街地整備を推進し、野田市の伝統的な産業のある工業地と、商業・業務機能が共存したまちづくりを進めます。
- 愛宕駅周辺は、市の中心的な商業業務地区を形成するため、東武野田線連続立体交差事業と一体となった駅前広場や駅前線等の市街地整備を推進し、中心市街地にふさわしい商業・業務機能の集積を図ります。
- 中心市街地における歴史的資源の保全・活用や、潤いある緑地空間の創出により、楽しく回遊できる都市空間の形成を図ります。
- 中心市街地の商業施設の充実を促進するとともに、主要道路の沿道を利用したにぎわいあるまちづくりを進め、互いに連携した商業環境の整備を図ります。
- 中心市街地の渋滞解消等、交通の利便性を向上させるため、都市計画道路堤台柳沢線、清水公園駅前線、中野台中根線の整備を進め、主要地方道つくば野田線の整備を促進します。
- 主要地方道越谷野田線の野田橋付近の4車線化を促進し、埼玉県との円滑な交通の実現に努めます。
- 伝統的な産業のある工業地と商業・業務が共存したまちづくりを進め、訪れた人が市の伝統を感じられるような空間形成を図ります。
- 中央の杜を野田市のみどりのシンボルとして整備・保全するとともに、江戸川や、野田市総合公園周辺の自然環境の保全を図り、自然を身近に感じられる空間整備を進めます。
- 野田市総合公園の機能充実や、スポーツ・レクリエーションの楽しめる環境整備を推進します。
- 地区内に点在する歴史文化資源の保全・活用により、身近に歴史や文化とふれあえる環境を創出します。

中央地区方針図



凡例

- | | | | |
|--|-------------------------------|--|-----------------|
| | 市民の憩いの場となる緑地空間 | | 広域幹線道路 |
| | 農地等と集落が共存する地域 | | 幹線道路 |
| | 優良な農地を保全する地域 | | 補助幹線道路 |
| | 住環境の向上を図る地域 | | 東武野田線（複線化の促進） |
| | ゆとりある住宅地を保全する地域 | | 道路機能を強化する区間 |
| | 野田市の文化をアピールする商業地 | | 鉄道高架区間 |
| | 地区住民の日常購買を満たす商業地 | | 河川、調節池、水路 |
| | 野田市の集客力を高める複合施設地区 | | 行政拠点 |
| | 野田市の中心的な商業・業務を推進する地域 | | 地域・文化拠点 |
| | 野田市の伝統的な産業のある工業地と商業・業務が共存する地域 | | スポーツ・レクリエーション拠点 |
| | 野田市の伝統的な産業のある工業地 | | 小・中学校 |
| | 工業と住宅の共生を図る地域 | | 公民館 |
| | 緑豊かで良好なまちなみ景観を形成する地区 | | 福祉施設 |
| | 幹線道路沿道開発誘導ゾーン | | その他の公共施設 |
| | 観光商業整備誘導ゾーン | | 歴史文化資源 |
| | | | 自然資源 |
| | | | 駅を中心としたサービス拠点 |
| | | | 浸水対策地区 |
| | | | 地区界 |

4-2

東部地区まちづくり構想

1) 地区の現況

東部地区は、農地や農家集落を中心とした地区であり、市街地は、国道16号と主要地方道つくば野田線の交差点を中心に形成されています。また、高齢者や障がいのある人などの福祉施設が集積しています。

地区の東側には利根川が流れ、利根川沿いには豊かな田園風景や緑地が広がっています。また、ゴルフ場の緑地、樹林地が点在するなど、自然環境に恵まれています。

主要な道路としては、外郭環状道路の一部である主要地方道我孫子関宿線と、東西方向の幹線道路である主要地方道つくば野田線が通っています。



■ 主要地方道我孫子関宿線



■ 目吹地区の水田

2) 地区の課題

東部地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 利根川や樹林地などの良好な自然環境や田園景観の保全・活用
- 利根川河川敷などの活用によるレクリエーション機能の強化
- 他地域との連携を強化するとともに、地区内での移動の円滑化に向けた道路の整備・充実

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、東部地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

～みどり豊かな自然環境に囲まれた、
やさしさとやすらぎのあるまち～

4) まちづくりの基本目標

東部地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

- ① みどりに囲まれた、自然と共生するまちづくりを目指します
- ② 豊かな田園、水辺環境を活用した、水とみどりに親しめるまちづくりを目指します
- ③ 安全で快適な生活環境を創出し、安心とやすらぎのあるまちづくりを目指します

5) まちづくりの方針

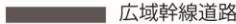



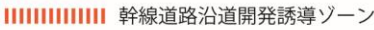


東部地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 農地を中心とした農村の豊かな自然資源の保全・活用を図り、自然と共生したまちづくりを進めます。
- 利根川以西に位置する良好な田園や自然環境の積極的な保全を図ります。
- 豊かな田園や山林により形成される緑地空間や、利根川、水路、沼などにより形成される水辺空間の保全を図り、まちの至る所で水やみどりを感じられるような空間形成を図ります。
- 主要地方道つくば野田線の芽吹大橋付近の4車線化による渋滞解消策や、外郭環状道路となる主要地方道我孫子関宿線など、地区の骨格を成す道路の機能強化などを促進し、安全で快適な生活環境を創出します。

東部地区方針図



凡 例

- | | | | |
|---|-----------------|--|-------------|
|  | 市民の憩いの場となる緑地空間 |  | 広域幹線道路 |
|  | 農地等と集落が共存する地域 |  | 道路機能を強化する区間 |
|  | 優良な農地を保全する地域 |  | 河川、調節池、水路 |
|  | 住環境の向上を図る地域 |  | 小・中学校 |
|  | ゆとりある住宅地を保全する地域 |  | 公民館 |
|  | 幹線道路沿道開発誘導ゾーン |  | 福祉施設 |
| | |  | その他の公共施設 |
| | |  | ゴルフ場 |
| | |  | 地区界 |

4-3

南部地区まちづくり構想

1) 地区の現況

南部地区は、梅郷駅西土地区画整理事業、駅の東西連絡自由通路、梅郷駅東側の駅前広場や都市計画道路の整備など、駅を中心とした市街地整備により、良好な市街地環境が形成されつつあります。また、みずき地区についても計画的な住宅地が形成されています。地区の西側には江戸川、南側には利根運河が流れ、江戸川沿いには優良な田園地帯が広がっています。

主要な道路として、外郭環状道路となる都市計画道路今上木野崎線や主要地方道松戸野田線が通っています。利根運河沿いには、東京理科大学の広大なキャンパスが広がっています。



■ 梅郷駅西口



■ 利根運河

2) 地区の課題

南部地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 地区住民の生活の中心となる梅郷駅周辺の整備充実
- 都市基盤などの計画的な整備による、良好な環境を有する住宅地の形成
- 江戸川、利根運河などの自然環境や田園風景の保全・活用
- 他地域との連携を強化するとともに、地区内での移動の円滑化に向けた道路の整備充実
- 排水不良地区の改善を図るための雨水幹線の整備

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、南部地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

**～みどり豊かな住宅地が広がり、
若い世代が交流する活気あふれるまち～**

4) まちづくりの基本目標

南部地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

- ① **梅郷駅周辺に都市機能を集積し、発展性をもった活気あふれる拠点づくりを目指します**
- ② **隣接する市と自由に交流できる、快適で便利なまちづくりを目指します**
- ③ **みどり豊かな街並みを創出し、ゆとりと魅力あるまちづくりを目指します**

5) まちづくりの方針

南部地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 地区のサービス拠点として地区住民の利便性を高めるため、商業サービス機能の強化を図ります。
- 外郭環状道路となる都市計画道路今上木野崎線の整備を促進します。
- 梅郷駅を中心に広がる、ゆとりある住宅地は、住環境の保全に努めるとともに、みどり豊かで良好な街並み景観の形成などにより、更に質の高い空間形成を図ります。
- ゆとりと魅力ある空間を形成するため、江戸川以東に広がる田園風景や自然環境の積極的な保全を図ります。
- 自然とふれあう空間を享受するため、江戸川及び利根運河の自然環境の保全を図ります。
- 排水不良地区の改善を図るため、桜木地区において雨水幹線の整備を推進します。
- 野田市から流山市へ通じる南北軸の幹線道路の渋滞解消に向けて、運河大橋付近の4車線化を含めた主要地方道松戸野田線の整備を促進します。

南部地区方針図



凡例

- | | | | |
|---|----------------------|--|---------------|
|  | 市民の憩いの場となる緑地空間 |  | 広域幹線道路 |
|  | 農地等と集落が共存する地域 |  | 幹線道路 |
|  | 優良な農地を保全する地域 |  | 補助幹線道路 |
|  | 住環境の向上を図る地域 |  | 東武野田線（複線化の促進） |
|  | ゆとりある住宅地を保全する地域 |  | 道路機能を強化する区間 |
|  | 地区住民の日常購買を満たす商業地 |  | 河川、調節池、水路 |
|  | 緑豊かで良好なまちなみ景観を形成する地区 |  | 地域・文化拠点 |
|  | 幹線道路沿道開発誘導ゾーン |  | 小・中学校 |
| | |  | 公民館 |
| | |  | 歴史文化資源 |
| | |  | 自然資源 |
| | |  | 駅を中心としたサービス拠点 |
| | |  | 浸水対策地区 |
| | |  | 地区界 |

4-4

北部地区まちづくり構想

1) 地区の現況

北部地区は、川間駅南側から七光台駅西側にかけて道路、公園などの都市基盤が整備されており、岩名一丁目及び岩名二丁目を始めとした良好な住宅地が形成されています。

また、地区の西側には江戸川が流れ、江戸川河川敷運動広場が整備されています。主要な道路として、外郭環状道路となる都市計画道路山崎吉春線が通っています。



■ 川間駅南口



■ 七光台駅西口

2) 地区の課題

北部地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 地区住民の生活の中心となる七光台駅周辺、川間駅周辺の利便性の向上
- 計画的な都市基盤整備などにより創出された良好な環境を有する住宅地の維持・保全
- 住工混在（*46）の解消による生活環境の改善
- 江戸川を始めとする自然環境の保全・活用とレクリエーション機能の強化

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、北部地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

～閑静な住宅地と身近な自然が調和した、
落ち着いたまち～

4) まちづくりの基本目標

北部地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

- ① 七光台駅西口周辺に都市機能を集積し、多様な世代がふれあえる拠点づくりを目指します
- ② 多様な世代が愛着と誇りを持って暮らせる、みどり豊かで落ち着いたまちづくりを目指します
- ③ 住工混在地区の生活環境を改善し、快適で健やかなまちづくりを目指します

5) まちづくりの方針

北部地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 七光台駅西口周辺は、駐輪場の整備や商業サービス機能の充実により、多様な世代がふれあえる空間形成を図ります。
- 七光台駅東側は、周辺の自然環境と調和したまちづくりの必要性について検討します。
- 川間駅を中心とした、落ち着いた街並みと調和した商業サービス機能の強化を図ります。
- 既存のゆとりある住宅地は、良好な住環境の保全に努めるとともに、自然環境と調和した街並み形成などにより、より質の高い空間形成を図ります。
- 江戸川の自然環境の保全を図るとともに、地域のスポーツ拠点として江戸川河川敷の運動広場の機能充実を図ります。
- 住宅と工場の混在している地区は、工場敷地内の緑化及び既存工業地への工場移転などを促進し、居住環境の保全と公害防止に努めます。



凡 例

- | | | | |
|---|----------------------|---|-----------------|
|  | 市民の憩いの場となる緑地空間 |  | 広域幹線道路 |
|  | 農地等と集落が共存する地域 |  | 幹線道路 |
|  | 住環境の向上を図る地域 |  | 補助幹線道路 |
|  | ゆとりある住宅地を保全する地域 |  | 東武野田線（複線化の促進） |
|  | 地区住民の日常購買を満たす商業地 |  | 鉄道高架区間 |
|  | 工業と住宅の共生を図る地域 |  | 河川、調節池、水路 |
|  | 緑豊かで良好なまちなみ景観を形成する地区 |  | 地域・文化拠点 |
|  | 幹線道路沿道誘導ゾーン |  | スポーツ・レクリエーション拠点 |
| | |  | 小・中学校 |
| | |  | 公民館 |
| | |  | 福祉施設 |
| | |  | 自然・歴史文化資源 |
| | |  | 駅を中心としたサービス拠点 |
| | |  | 地区界 |

4-5

川間地区まちづくり構想

1) 地区の現況

川間地区は、日の出町や尾崎台などの一部の市街化区域(*47)を除き、地区の大部分が市街化調整区域(*48)となっており、地区東側に利根川、西側に江戸川が流れ、くり堀川やはきだし沼などの自然資源が存在し、小山及び船形地区には大規模な優良農地が広がるなど、豊かな自然環境に囲まれています。また、中里工業団地が形成されるとともに泉地区には流通施設などが立地し、第二の福祉ゾーンでは、高齢者や障がいのある人などの福祉施設が集積しており、農・住・職の調和の取れた地区です。

主要な道路として、国道16号を始め主要地方道結城野田線、我孫子関宿線、市道船形吉春線が通っており、地域サービス核として、川間駅北口を中心としたまちづくりが求められています。



■ 川間駅北口



■ 泉地区

2) 地区の課題

川間地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 利根川や江戸川、はきだし沼などを始めとした良好な自然環境の保全・活用とレクリエーション機能の強化
- 地区住民の生活の中心となる川間駅周辺の整備充実
- 川間駅北口周辺の商業地の形成など、地域の活性化に向けた拠点の形成
- 他地域との連携を強化するとともに、地区内での移動の円滑化に向けた道路の整備充実

- 排水不良地区の改善を図るための雨水幹線の整備
- 第二の福祉ゾーン未利用地の活用

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、川間地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

**～豊かな田園、水辺環境と農・住・職が調和し、
新たな交流が育まれるまち～**

4) まちづくりの基本目標

川間地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

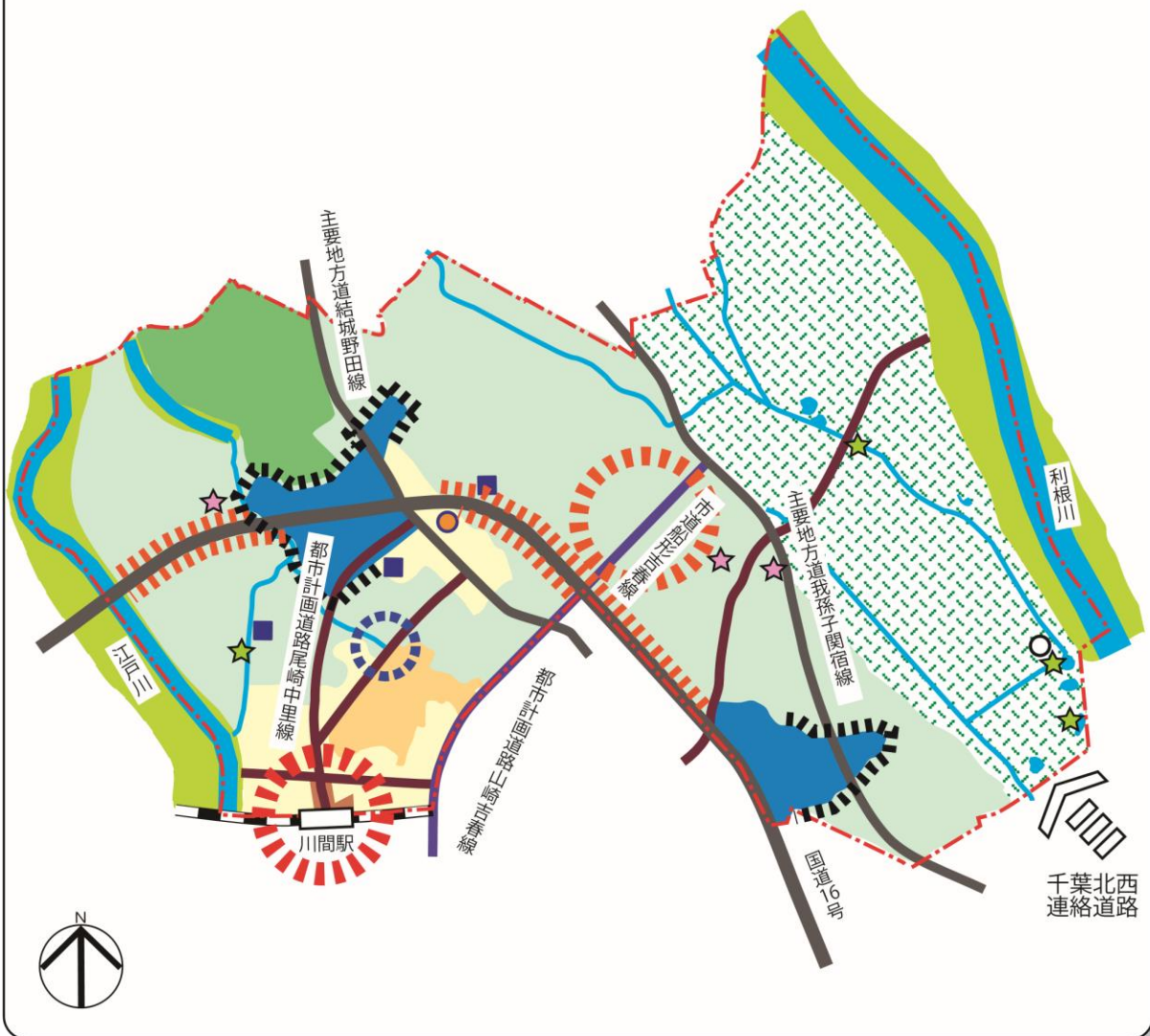
- ① 地域サービス核として、川間駅北口周辺に都市機能の充実を図り、利便性の高い拠点づくりを目指します
- ② 豊かな田園、水辺環境を保全し、水とみどりに囲まれたまちづくりを目指します
- ③ 自然環境に配慮した、地域活性化のための拠点づくりを目指します

5) まちづくりの方針

川間地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 川間駅を中心とした商業サービス機能の強化により、地域サービス核として地区住民の日常購買需要を満たす商業地の形成を図ります。
- 利根川及び江戸川の自然環境の保全を図ります。
- 利根川以西に広がる田園風景や自然環境の積極的な保全を図ります。
- くり堀川やはきだし沼周辺の自然環境の保全・活用を図り、周辺環境と調和した、自然と親しめる親水整備を推進します。
- 地区中部に広がる未利用地は、地域の活性化を視野に入れた計画的土地利用について検討します。
- 地区内外のアクセス向上や、地域の活性化のため、主要地方道結城野田線、我孫子関宿線、都市計画道路尾崎中里線の整備など、交通機能の充実を図ります。
- 排水不良地区の改善を図るため、尾崎地区から日の出町地区において雨水幹線の整備を推進します。
- 第二の福祉ゾーンを中心とした福祉施設等の更なる充実を図ります。

川間地区方針図



凡例

- | | | | |
|---|------------------|--|---------------|
|  | 市民の憩いの場となる緑地空間 |  | 広域幹線道路 |
|  | 農地等と集落が共存する地域 |  | 幹線道路 |
|  | 優良な農地を保全する地域 |  | 補助幹線道路 |
|  | 住環境の向上を図る地域 |  | 東武野田線（複線化の促進） |
|  | ゆとりある住宅地を保全する地域 |  | 河川、調節池、水路 |
|  | 地区住民の日常購買を満たす商業地 |  | 小・中学校 |
|  | 工業を主体とした地域 |  | 公民館 |
|  | 幹線道路沿道開発誘導ゾーン |  | その他の公共施設 |
|  | 既存工業団地連携誘導ゾーン |  | 歴史文化資源 |
|  | 非住居系開発誘導ゾーン |  | 自然資源 |
| | |  | 駅を中心としたサービス拠点 |
| | |  | 浸水対策地区 |
| | |  | ゴルフ場 |
| | |  | 地区界 |

4-6

福田地区まちづくり構想

1) 地区の現況

福田地区は、地区の大部分が市街化調整区域となっており、市街地は梅郷団地の低層住宅が地区の中心部に形成されているとともに、地区東側に利根川、南側に利根運河が流れ、利根川河川敷には緑地と一体となったレクリエーションの拠点となる野田市スポーツ公園、また、江川地区には生物多様性のシンボルであるコウノトリの飼育施設「こうのとりの里」が整備されています。

主要な道路として、外郭環状道路となる都市計画道路今上木野崎線が通っています。また、国道16号沿いに南部工業団地及び野田工業団地が形成されています。



■野田市スポーツ公園



■こうのとりの里

2) 地区の課題

福田地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 江川地区の周辺斜面林等の保全など豊かな自然環境と調和した土地利用の展開
- 利根川や緑地などを始めとした良好な自然環境の保全・活用と、野田市スポーツ公園の整備によるレクリエーション機能の強化
- 他地域との連携を強化するとともに、地区内での移動の円滑化に向けた道路の整備充実
- 野田市こうのとりの里を活用した環境教育と、観光等地域活性化の展開

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、福田地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

～水とみどりの豊かな自然環境の中で、
人と自然との交流を育むまち～

4) まちづくりの基本目標

福田地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

- ① 水とみどりの豊かな自然環境を保全し、環境にやさしいまちづくりを目指します
- ② 優れた自然景観に配慮した、自然と共生するまちづくりを目指します
- ③ 良好な緑地空間を活用して、スポーツ・レクリエーションの拠点づくりを目指します
- ④ コウノトリをシンボルとした生物多様性の重点モデル地区としての活用を目指します

5) まちづくりの方針

福田地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 生物多様性の保全上重要な里地里山に認定されている江川地区を始め、野田市スポーツ公園及び利根川・利根運河周辺に広がる豊かな自然環境の積極的な保全を図ります。
- 農地や河川環境などとの調和や自然景観に配慮しつつ、主要地方道我孫子関宿線の整備を促進します。
- 梅郷駅などへのアクセス強化や通過交通の排除を図るため、都市計画道路今上木野崎線の周辺の自然環境に調和した整備を促進します。
- 江川地区では、市民農園やビオトープ（*49）としての土地利用を図るなど自然環境保護に努めます。
- スポーツ・レクリエーション機能の強化を図るため、野田市スポーツ公園の整備・充実を図ります。
- 環境学習や観光資源として、野田市こうのとりの里の充実を図ります。



凡 例

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場となる緑地空間 農地等と集落が共存する地域 優良な農地を保全する地域 住環境の向上を図る地域 工業を主体とした地域 幹線道路沿道開発誘導ゾーン 既存工業団地連携誘導ゾーン | <ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路 幹線道路 補助幹線道路 河川、調整池、水路 スポーツ・レクリエーション拠点 小・中学校 公民館 福祉施設 その他の公共施設 歴史文化資源 自然資源 ゴルフ場 地区界 |
|---|--|

4-7

関宿北部地区まちづくり構想

1) 地区の現況

関宿北部地区は、主要地方道結城野田線及び都市計画道路台町元町線（境杉戸線バイパス）に沿って市街地が形成され、台町東地区において土地区画整理事業により計画的な整備が実施されています。また、市街地の周辺は優良農地に囲まれ、農家集落がその外側に散在しています。

本地区南側は、関宿中部地区の北側に配置されている「関宿はやま工業団地」に隣接しています。



■ 関宿城博物館



■ 都市計画道路台町元町線

2) 地区の課題

関宿北部地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 歴史的な資産の保全と調和した市街地整備
- 広域的なオープンスペースなどの土地利用
- 独自商圈の形成
- 都市計画道路台町元町線（主要地方道境杉戸線バイパス）の早期完成による道路混雑の解消
- 関宿落堀への環境用水導入による水質環境の改善
- 首都圏中央連絡自動車道インターチェンジへのアクセスをいかした産業用地の確保

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、関宿北部地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

～歴史と潤いのある、
人にやさしいまち～

4) まちづくりの基本目標

関宿北部地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

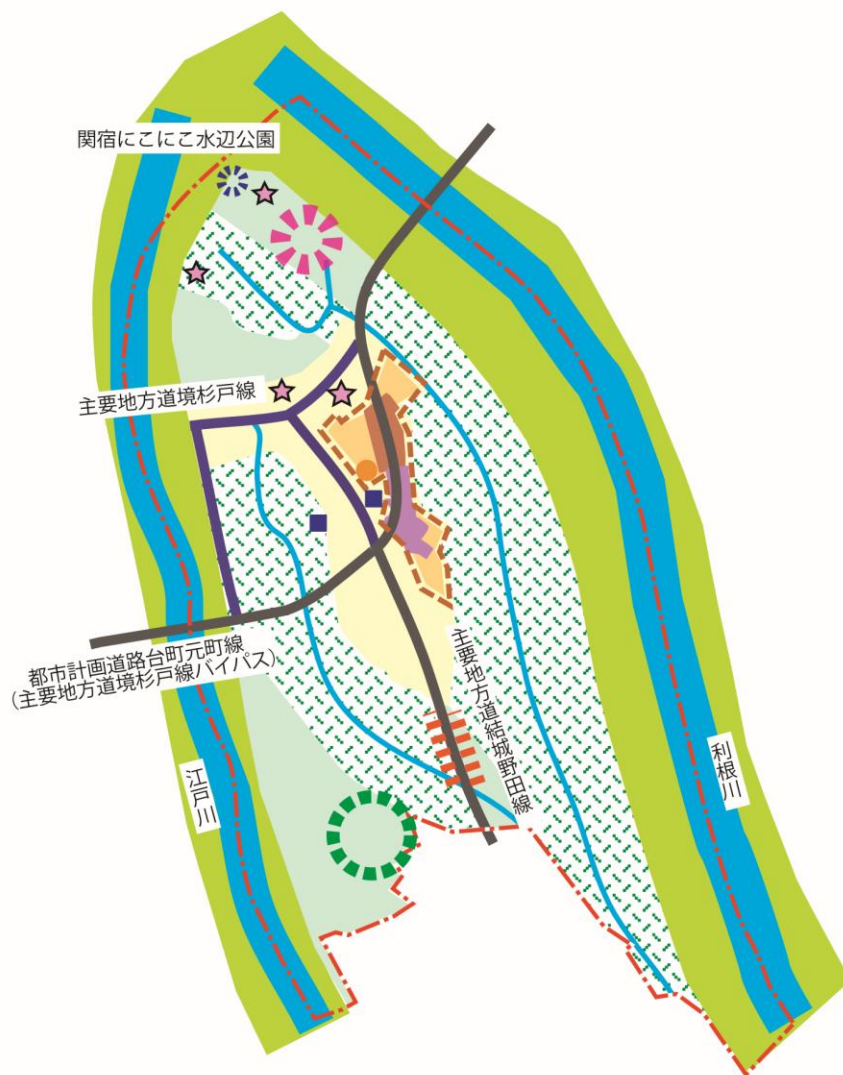
- ① 県立関宿城博物館及び鈴木貫太郎記念館等の歴史的文化資産と調和した、個性豊かな魅力あるまちづくりを支える交通・歩行基盤の整ったまちを目指します
- ② 地域の固有条件をいかしながら、新しい生活様式やコミュニティの活性化により、潤いのある豊かな生活ができるまちを目指します
- ③ 人・情報が出会い、様々な年齢層が交歓交流できるまちを目指し、市街地に隣接して計画的に整備される台町東地区と一体的なまちづくりとして、誰もが安全で快適に日常生活を営めるような住宅地の形成を図ります

5) まちづくりの方針

関宿北部地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 市街地内は道路・公園等の都市基盤の整備とともに、住環境の向上を図ります。
- 河川沿いの農業集落及び県立関宿城博物館を環状に連絡し、かつ、市街地とを連絡する生活道路の整備により利便性の向上を図ります。
- 台町東地区の幹線道路沿道については、地区住民の日常購買需要を満たす商業地の形成を図るとともにインターチェンジの特性（*50）をいかした工業地の形成を図ります。
- 河川沿いに展開する一団の優良農地とその周辺の住宅集落の共生を図ります。
- 台町東土地区画整理事業については、まちづくりを積極的に進め、早期完了を目指します。
- 関宿落堀に環境用水を導入し、落堀の水質改善を進め、生態系の保全を図ります。
- 郷土の偉人である鈴木貫太郎翁を顕彰するための鈴木貫太郎記念館の再建整備に取り組みます。
- 関宿中部地区の既存工業団地に連携した関宿元町地区に首都圏中央連絡自動車道インターチェンジへのアクセスをいかした工業地の形成を図ります。

関宿北部地区方針図



凡例

- | | | | |
|---|----------------------|--|-----------------|
|  | 市民の憩いの場となる緑地空間 |  | 広域幹線道路 |
|  | 農地等と集落が共存する地域 |  | 幹線道路 |
|  | 優良な農地を保全する地域 |  | 河川、調節池、水路 |
|  | 住環境の向上を図る地域 |  | スポーツ・レクリエーション拠点 |
|  | ゆとりある住宅地を保全する地域 |  | 小・中学校 |
|  | 地区住民の日常購買を満たす商業地 |  | 公民館 |
|  | 工業と住宅の共生を図る地域 |  | 歴史文化資源 |
|  | 緑豊かで良好なまちなみ景観を形成する地区 |  | 地区界 |
|  | 幹線道路沿道開発誘導ゾーン | | |
|  | 観光商業整備誘導ゾーン | | |
|  | 工業団地誘導ゾーン | | |

4-8

関宿中部地区まちづくり構想

1) 地区の現況

関宿中部地区は、幹線道路として主要地方道結城野田線、我孫子関宿線及び都市計画道路次木古布内線があり、主要地方道結城野田線に沿って市街地が形成されており、その中心部のなみき地区は、土地区画整理事業により良好な住環境が形成されています。

利根川沿いに優良農地があり、市街地との間は、農家集落と農地が散在しています。

なみき地区の東側と市街地の北側に工業地域があり、関宿北部地区に隣接して工業専用地域に指定された「関宿はやま工業団地」が配置されています。



■ 都市計画道路次木古布内線

2) 地区の課題

関宿中部地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 良好な居住環境を保全するための土地利用の整序、農地・緑地等の自然的土地利用が宅地化されたことによる住宅・工場・倉庫等の混在型の土地利用の解消
- 関宿地域の中心的な商業業務地の形成
- 住宅の密集化・住工混在化による火災対策、水防施設の整備等水防体制の強化、排水不良地区の改善を図るための河川改修・排水整備などの防災対策の強化
- 河川敷の広域的なオープンスペースの土地利用

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、関宿中部地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

～関宿地域の顔づくりと商業・業務等の
都市施設が整う人にやさしいまち～

4) まちづくりの基本目標

関宿中部地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

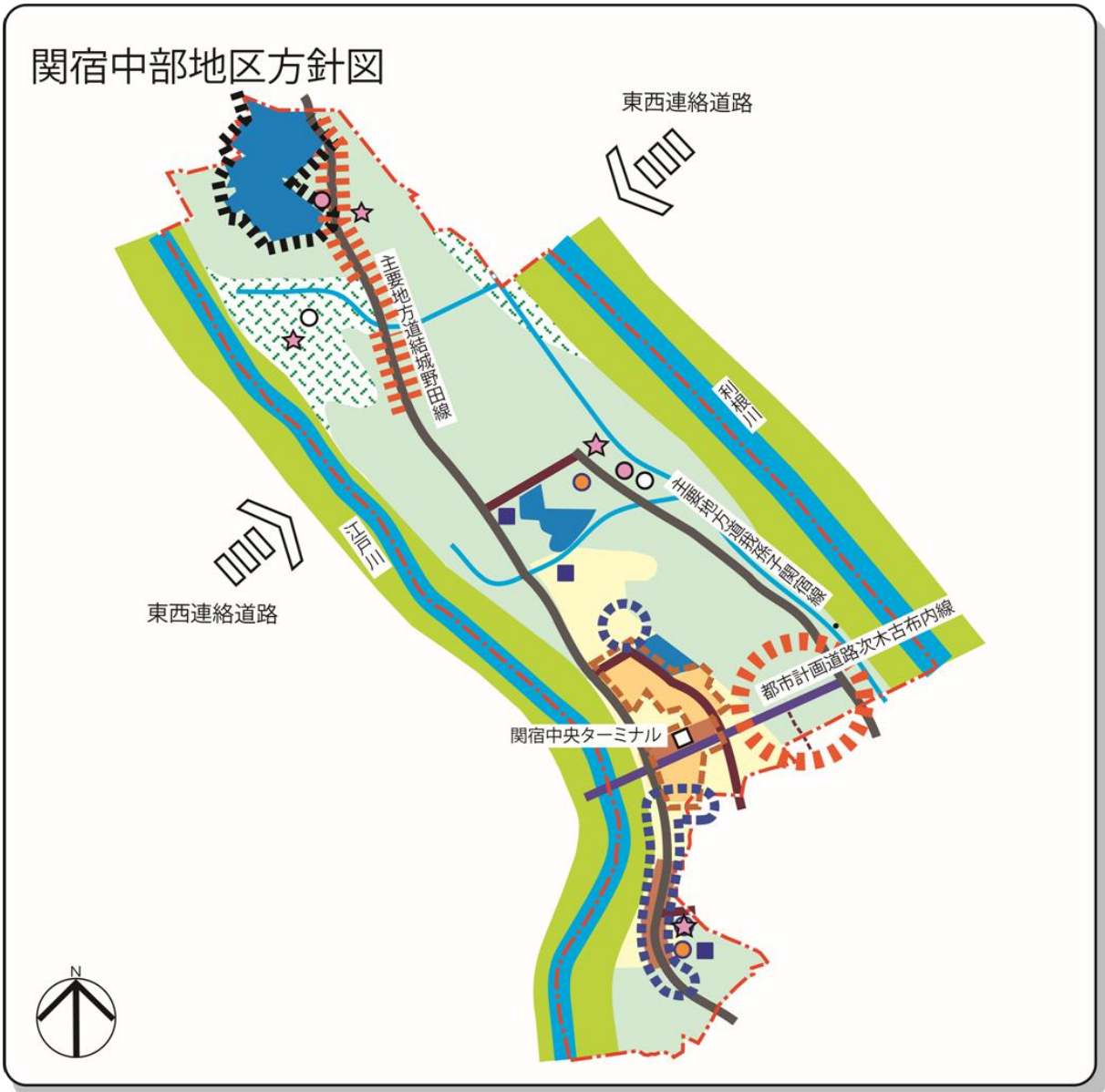
- ① 関宿地域の顔として、関宿中央ターミナル・関宿支所周辺は、多様な都市機能が集積する地域サービス核の形成として交通基盤の整備により、多彩な人々を集客できる歩行空間をもつまちを目指します
- ② 人・情報が出会い、様々な年齢層によって交歓交流があり、これらによる厚みと深みがある多様性をもつ複合的な生活のできるまちを目指します
- ③ 公園、河川及び農地等の水とみどりをいかしながら、やすらぎと潤いのあるまちを目指します

5) まちづくりの方針

関宿中部地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 既成市街地の線的整備とともに、主要地方道我孫子関宿線の（仮称）東西連絡道路までの延伸を構想します。
- 主要地方道結城野田線及び我孫子関宿線の2本を南北方向への骨格幹線とし、（仮称）東西連絡道路及び都市計画道路次木古布内線の2本を東西方向の骨格幹線とします。この東西、南北の幹線を軸として、梯子状の幹線道路網を検討します。
- 市街地と主要地方道我孫子関宿線との間の幹線道路に囲まれた範囲の土地利用について、住工混在の解消や都市基盤の整備などを検討します。
- 関宿中部地区・関宿南部地区との連携・連絡をする生活幹線道路を検討します。
- 河川沿いの優良農地については、田園風景を醸し出し、居住空間の潤いも演出することから、調和した共存型を目指します。
- 排水不良地区の改善を図るため、雨水幹線、調整池等の整備を推進します。

関宿中部地区方針図



凡例

- | | | | |
|---|----------------------|--|-----------|
|  | 市民の憩いの場となる緑地空間 |  | 広域幹線道路 |
|  | 農地等と集落が共存する地域 |  | 幹線道路 |
|  | 優良な農地を保全する地域 |  | 補助幹線道路 |
|  | 住環境の向上を図る地域 |  | 河川、調節池、水路 |
|  | ゆとりある住宅地を保全する地域 |  | 行政拠点 |
|  | 地区住民の日常購買を満たす商業地域 |  | 地域・文化拠点 |
|  | 工業を主体とした地域 |  | 小・中学校 |
|  | 緑豊かで良好なまちなみ景観を形成する地区 |  | 公民館 |
|  | 幹線道路沿道開発誘導ゾーン |  | 福祉施設 |
|  | 既存工業団地連携誘導ゾーン |  | その他の公共施設 |
|  | 非住居系開発誘導ゾーン |  | 歴史文化資源 |
| | |  | 浸水対策地区 |
| | |  | 地区界 |

4-9

関宿南部地区まちづくり構想

1) 地区の現況

関宿南部地区は、幹線道路として主要地方道結城野田線、我孫子関宿線、一般県道岩井関宿野田線があります。野田地域に隣接しているため、これらの主要地方道周辺に民間開発が散在し、農家集落と小規模な民間開発地と農地とが混在しています。

本地区北側では、関宿中部地区と連担した地区を市街化区域に定めています。利根川、江戸川河岸の一団の優良農地は、農用地区域となっています。



■野田市関宿総合公園



■一般県道岩井関宿野田線

2) 地区の課題

関宿南部地区の主なまちづくりの課題として、以下のとおりまとめます。

- 河川沿いの優良農地の保全と隣接する既存集落との調和
- 民間開発による都市基盤整備を欠いた住宅地の適正な土地利用
- 浸水被害解消のための雨水貯留施設・用排水路の整備、排水不良地区の改善を図るための河川改修・排水整備や自然災害などに対する防災対策

3) 地区の将来像

地区の現況や課題を踏まえ、関宿南部地区のあるべき将来像を次のとおり設定します。

～歴史と自然を活用し、安心して
生活が営める人にやさしいまち～

4) まちづくりの基本目標

関宿南部地区の将来像を実現し、地区の特色をいかしたまちづくりを行うため、まちづくりの基本目標を以下のとおり設定します。

- ① 阿部沼落堀沿いを中心とした治水対策を実施し、誰もが安心して生活できるまちづくりを目指します
- ② 野田市関宿総合公園、向ノ内森林公園、河川及び水田等のみどり豊かな自然や、歴史をもつ社寺を有効に活用し、みどりを重視したまちづくりを目指します

5) まちづくりの方針


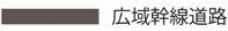
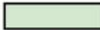


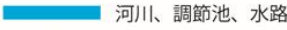







関宿南部地区の基本目標を実現するための方針を以下のとおり示します。

- 関宿中部地区の市街地と体系的な道路網の接続を関連付けるとともに、農地、緑地との調和を図り、環境基盤の整備として農業的土地利用に整合する特徴的な居住区の形成を図ります。
- 歩行者の安全性が確保され、生活の幹線道路となる主要地方道我孫子関宿線の整備を促進します。
- 河川沿いの優良農地については、田園風景を醸し出し、居住空間の潤いも演出することから、調和した共存型を目指します。
- 排水不良地区の改善を図るため、雨水管、調整池等の整備を推進します。

関宿南部地区方針図



凡例

- | | | | |
|---|----------------|--|-----------------|
|  | 市民の憩いの場となる緑地空間 |  | 広域幹線道路 |
|  | 農地等と集落が共存する地域 |  | 補助幹線道路 |
|  | 優良な農地を保全する地域 |  | 河川、調節池、水路 |
|  | 住環境の向上を図る地域 |  | スポーツ・レクリエーション拠点 |
| | |  | 小・中学校 |
| | |  | 公民館 |
| | |  | 歴史文化資源 |
| | |  | 浸水対策地区 |
| | |  | 地区界 |

